

県学習状況調査を活用した学力向上の取組

【久喜市教育委員会】

〈取組〉

1 学力向上研究部会の開催（年3回）

学んだ知識や技能を活用するための思考力・判断力・表現力等の育成と学習意欲の向上について研究を推進する目的で開催する。

- (1) 県学習状況調査の支援プログラムの活用の説明
- (2) 久喜市全体としての課題の提示
- (3) 県学習状況調査を活用した事例に関する情報提供

2 久喜市教育委員会学校訪問の実施

- (1) 久喜市教育委員会指導課訪問（各校2年に1回）

指導課指導主事が学校を訪問し、教職員の授業力向上、教育課程の実施状況、指導計画の進捗状況等について、学校を指導・支援する。学校は、県学習状況調査の活用について報告を行う。

- (2) 久喜市教育委員会研究委嘱の実施

2年間の研究を委嘱し、計画的・継続的な学校訪問を通して、学校研究の指導・支援をする。

3 小学校国語に焦点を当てた取組事例

- (1) 県学習状況調査の結果から、「目的や必要に応じて、理由や事例を挙げて書くことと、文の構成について理解すること」が課題であると捉えた。「書くこと」を中心に据えた校内研修課題を設定し、書けるようになるための学習過程を工夫し、授業の単元計画を立て、教材の開発を行った。



- (2) 県学習状況調査の結果を分析し、「文の構成や表現の効果を確かめ、文章を読み返して正しく文を書くことができるようになること」を目標として設定した。分析結果を全職員に配布して情報の共有を図ると共に、補習や宿題等を実施し改善を図った。

〈成果〉

市教育委員会は、県学習状況調査に同一系の問題があることで、学習状況の経年変化を見ることができている。また、分析結果から課題を設定し、学力向上研究部会等を通じて市全体のその課題を学校と共有し、管内の学校全体でレベルアップを図る体制を整備することができている。

